

1. 生涯学習の充実

基本方針

自主的な活動を行っている市民・団体等を支援し、市民一人一人が自分らしく、生き生きと暮らせるための生涯学習を推進します。

いつでも、どこでも、だれでもが学びたい時に学び、学んだことを地域に還元することができる生涯学習講座を充実し、生涯学習施設の利用を促進します。

地域の教育力の向上を図るとともに、生涯学習を体系的に推進するために組織づくりを行います。



現状と課題

生涯学習施設において、多くの講座を実施しています。地区公民館については、地域の実情に応じた運営を行い、様々な自主サークル・団体が活動の場として利用しています。しかし、地域の教育力を高めるとい点では、生活に関連した課題を解決することを目的とした講座がほとんどなく、市民と行政の協働による課題の解決に関する学習の機会を設けることが必要です。また、サークル・団体間の連携不足や生涯学習施設の老朽化等が課題となっています。さらに、社会や自然環境が変化する中で、子どもたちが自然や命の大切さを学ぶことのできる学習機会の提供も不可欠なものとなっています。

施策指標

指標名	実績値			目標値
	H16	H17	H18	H24
生涯学習活動に参加している市民の割合	—	—	27.6%	30.0%
社会教育関係講座の開催数	101 講座	101 講座	104 講座	110 講座
中央公民館の利用率	—	41.2%	42.0%	50.0%
有料生涯学習施設入館者数(4館)	118,884 人	139,629 人	129,968 人	145,676 人
住民1人当りの図書貸出冊数	5.77 冊	5.67 冊	5.17 冊	5.70 冊

今後の取組

① 教室・講座の充実

生涯学習のきっかけをつくるため、教養や趣味に関する課題、市民と行政とが連携して取り組むべき課題をバランス良く取り入れ、市民のニーズや現状に合った教室・講座を開催します。

- アンケート調査等の実施
- 市民のニーズに合った講座・教室の開催

② 学習グループ・サークルの育成

今後増加する団塊世代の退職者や高齢者に対して学習グループ・サークルへの参加を促すことで地域のネットワークづくりを推進するとともに、学んだことを地域へ還元できる学習体制を整備することにより、指導者及び学習グループ・サークルの育成を推進します。

- 学習グループ・サークルのネットワーク推進事業

③ 生涯学習施設の充実による利用拡大

事業や講座の内容を更に工夫し、参加者を増やすとともに、施設の空き情報やイベントの情報を発信するなどの啓発活動に努めます。

こども科学館・昆虫館等の運営内容を工夫し、実験ショーや参加型の講座を増やすことで利用者の拡大を図るとともに、昆虫館施設の充実のため整備事業を実施します。

- ITの活用や情報誌の発行などの啓発事業
- 入館者数拡大推進事業
- 昆虫館施設整備事業



昆虫館

④ 生涯学習推進体制の整備

生涯学習講座については、庁内生涯学習調整会議の開催により、趣旨・目的が同じものについては一元化し、関係課が連携を取りながら講座・事業を行うことで、内容の充実を図ります。

地域においては、公民館を中心とした学習の機会や場所の提供を体系的に行い、地域主体の生涯学習につなげることで、地域の教育力を高めます。

また、学んだことを地域に還元できるように、活動の場を提供します。

家庭、地域、学校等における読書活動の推進について定めた「橿原市子ども読書活動推進計画」に基づき、それぞれの場で子どもの豊かな心を育むための取組を進めるとともに、図書館と地域・学校等との連携を深めて総合的・体系的に取り組んでいきます。また、その進捗状況を点検・評価しながら、より効果的な取組ができるような体制作りを行います。

- 庁内生涯学習調整会議の実施
- 地域生涯学習推進実行委員会の組織づくり
- 地域活性化推進事業
- 橿原市読書活動推進会議

⑤ 自然環境教育の推進

昆虫館を訪れた子どもたちが自然をより理解できるように、テーマを絞って実施している特別展や企画展、四季の昆虫観察講座等の内容を充実し、自然や命の大切さを伝えます。

- 市内の小学校との連携事業
- 館内展示の充実

⑥ 生涯学習ネットワークの推進

生涯学習施設や学校などの公共施設のネットワーク化を推進し、講座・施設の申込・受付の簡素化を図り、また、内容・空き状況等の生涯学習に関する情報いつでも入手できるような仕組みを整えます。

- 公共施設のネットワーク化推進事業

市民等との役割分担

市民は行政と連携しながら、地域の生涯学習を主体的に推進する組織を設置し、学んだことを地域に還元し、地域の教育力を高め、課題解決に向けた活動に役立てていくことが期待されます。